

お名前 ( 赤丸急上昇:赤松美智代 )

習った芸能( 金津流浦浜獅子躍 )

### 1) 三陸の芸能を習ってみていかがでしたか？

前回、2019年3月の三陸国際芸術祭(大船渡駅前劇場)で赤丸急上昇で参加し大船渡に滞在した時、金津流浦浜獅子躍の踊りを初めて観ました。そして、練習場所にもお伺いすることができ、練習風景の見学と、フルミズシマさんに衣装を着せて頂き写真を撮らせてもらいました。その時には、何が何だかわからないけど、とにかくカッコ良い、、そしてあたたかい、気持ちになりました。それから、練習中のフルミズチカラさんの言葉が、心と身体に響きわたり、なんだか魔法がかかったような気持ちになりました。もう少し詳しく知りたい。そう思っていたので、今回その躍りの一部に触れることができ、本当に幸せでした。少し触れただけですが、やはりとても面白い。もっと、もっと、もっと、この躍りを知りたいです。

### 2) 今回はオンラインでの芸能体験でしたが、率直にいかがでしたか？良かった点、困った点をお聞かせください。(応募、事前準備、受講のことなど)

応募については、相方の丸山に任せきりにしていたので、私はわからないのですが、事前準備として、松山でオンラインに長けている場所があり(サイボウズ)そこをレンタルする予定だったのですが、コロナの関係で、急に使用不可になり、直前で慌てふためきながら、丸山と試行錯誤しました。結果、自分たちが活動拠点にしている松山のMOGAというところで行いました。

映像と、音声を2台のPCでそれぞれ活用するという新しい方式で手探りで行ったのですが、なかなか面白くできました。(なんでも工夫やな・・・ぼそっ。)

### 3) 受講をされて、ご自身のアーティスト活動において、どのような影響、意味があると思われましたか？

躍りが生まれる時、躍りが繋がっていく時のことについて考えさせられた。  
私は実家が、愛媛県宇和島市吉田町、、ここには、穏やかな哀愁のある小さな鹿踊りがあります。  
仙台からやってきた、伊達政宗の長男、伊達秀宗が治めた宇和島。  
仙台から愛媛へ  
人が動くことで、人がそこで生活することで、生まれる踊り。

そして、今回習った「金津流浦浜獅子躍」

生活の中に、地域の中にある踊りのなんと魅力的なことか・・・そんなことを考える日々です。

4) 今後も三陸の郷土芸能を習いたい、通いたいと思われたときに、AIR以外にどのような方法や制度があると良いと思われますか？

うーん。AIRも、オンラインも、とても良かったです。これらが続けることが良いと思います。学校の授業(歴史)などを学ぶ時に、実際の躍りがみれたりすると面白いとも思いました。

5) 上記以外にご意見や感想がございましたら、自由にお書きください。

私の実家で父が一人で暮らしている、実家は古い道具にかこまれていて、100年くらい前の入れ物や、昔の人が背負って学校に行ってたというワラと木でできた面白い形のシンプルな道具もある、今でいうランドセルの代わり・・・もちろんそれは今は使ってはないけど、今も使っているものもある、長持、小箱、カゴ、皿、、、捨てる必要がないし、そんなに次々にものを買わないし、生活の中で使い、壊れてもたいがいのは直して使う、もちろん、消耗品は次々買っていくから、古いものと、そうでないもの、そういうものが織り混ざっている中で父は生活している。

次々に便利なものを買えるけど、なんだかわかんないうちに、ずーっと使っていて、これはもうどこにも買えないような、色合いや、馴染む雰囲気が出てくるもの。別に、これを大事に使っていこう!!!!と決めたから、ここに100年、200年残っているわけではない、ただそこに在るのよね。

「今」を考える時、昔の人の「今」も変わらず「今」だったに違いない。この道具たちを使っていた、もう亡くなってしまった先祖も、今日この道具を使っている、生きて生活している父も、悲しい日もあるよね。嬉しい日もあるはず。怒ってたかも？染みるような幸せを感じているかも？

過去を振り返る時に、改めて  
ああ、これは、こういうことだったんだね。ってわかることもあるし、時代に名前がついて、歴史となっていく、  
だけど、それらはこれからも、「今」を過ごしながら生み出されていくものだね。  
だったら、「今」は私たちがやるべき時。  
コロナが現れたりしてるけれど、それもまた間違いのない、私たちが生きている「今」  
いのち短し恋せよ乙女

獅子踊り、鹿踊り、シシ踊り、

「令和2年度戦略的芸術文化創造推進事業  
三陸国際芸術推進事業 2020 アーティスト インレジデンス  
三陸芸能短期留学（A.I.R.）/ オンライン芸能体験」に関するアンケート

どこからやってきたんだろう?なぜこの踊りが作られたんだろう?  
誰が踊ってきたんだろう?どんな気持ちで踊っていたんだろう?  
どこからやってきて、どこにいて、どこにむかっていくんだろう?  
今日はどんな気持ちで踊るんだろう? 大金津流浦浜獅子躍のみなさんありがとう。

ぜひ、三陸の郷土芸能に会いに来てください。ご協力ありがとうございました。

三陸国際芸術推進委員会事務局